

ゴールデンウィークも終わり、5日は雨でしたが、6日は気持ちの良い朝を迎えました。期間中、部活動では、総体関連の試合が相次ぎ、顧問の先生方もお疲れ様でした。何より生徒の皆さんは力を発揮できたでしょうか？各種目まだまだ戦いは続きますが、頑張してほしいと思います。さて、



前号でも申し上げた通り、本校でも会場となる種目もあり、校務員さんが体育館前の駐車スペースとなる部分の整備をしてくださりました。掘れて陥没していた部分にバラスと砂利を合わせて入れ、固めてくれていました。いつも綺麗に整備していただいています。本当にありがとうございます。

5月1日からは少しずつではありますが、各種目大会を応援に行かせていた



いただきました。男子サッカーで本校が会場となり、総体1回戦を葦合高校相手に戦いました。前半後半で決着がつかず、延長にもつれ込み一進一退を繰り返していましたが、延長後半終了間際に得たフリーキックが風の影響でよい方向にのび、そのままゴールに吸い込

まれ、貴重な得点を入れ、そのまま逃げ切り勝利。1回戦を勝ち上がりました。その後5月4日も本校を会場として2回戦が行われ、有馬高校相手に3-0で勝利し、3回戦にコマを進めました。これから暑くなってきますが、走り負けることなく勝ち上がってください。お疲れ様でした。



5月2日は、ソフトテニスの東播地区予選団体戦が吉川総合運動公園で行われました。1日には女子個人が行われたのですが強風にあおられリズムをつかめず敗退

していただけに、男子も女子もこの団体に賭ける思いは強かったようです。1回戦を共に勝ち上がり、県大会出場を賭けての2回戦で共に敗退。敗者復活の県大会出場枠を賭けたトーナメントに回り、女子はその最初の試合で、男子は決定戦で敗れ県大会出場を逃しました。感染防止対策から10名しか試合会場に足を運べず、メンバーのみの応援となりましたが、顧問の先生方含め熱い応援を展開、存分に力を発揮してくれたように思います。今回の悔しい気持ちを下級生は新人大会で晴らせるよう頑張ってください。



そして5月3日は東播地区春季ソフトボール大会が本校で行われ、西脇高校との県総体シード権を賭けた戦いから始まりました。天気も良かったのですが、守備の時に太陽光がまぶしく

特にフライが上がった時の処理に苦労していました。その処理の差が得点差になって現れ、4回12-2のゴールドゲームで勝利を収め、県大会のシード権を取りました(ソフトボールは3回で15点差、4回で10点差、5回以降は7点差がつくとその時点でのゴールドゲームとなります)。その直後に行われた東播磨高校との対戦では初回3点を取り、リードしながらも最終的には逆転され、6-8で敗退。東播準優勝という結果だったそうです。昨年の新人県大会を見に行ったとき(対戦相手は東播磨高校)よりも堅実な守備とバッティングになっていて成長の跡が感じられました。県大会に向けしっかりと調整してベスト8以上を目指してください。

その他にも各競技が行われ、野球はベスト8を賭けて滝川第二高校と対戦しましたが初回立ち上がりを攻められ6点を失い苦しい展開だったようで、最終的には0-7で敗退となりました。敗戦の中にも収穫はあったとい

うことで、夏の甲子園予選に期待したいと思います。また、卓球部も総体東播地区予選に臨みましたが、団体、個人ともに敗戦。県大会出場はできなかったようです。しかしながら登録間もない1年生が1回戦を勝ち上がるなどの収穫もあり、新人大会が楽しみになったということでした。バドミントンは、個人戦シングルスとダブルスが行われ、男子は圧倒的な力で両種目優勝、さらにはベスト8に6人残るなど層の厚さも感じられる試合だったようです。一方の女子はダブルスで優勝、シングルスは2位とまずまずの力を発揮できたようで、こちらも県大会が楽しみとなってきています。ケガや体調に気を付けてしっかりと仕上げていきましょう。柔道では、日本ジュニアにつながる県大会が開催され、男子81kgで菊川選手、女子48kg級で横山選手、63kg級で東嶋選手が優勝を飾り、男子60kg2位の高橋選手、81kg級2位の長谷川選手、女子57kg級3位の増田選手の合計6名が近畿ジュニア大会にコマを進めたそうです。おめでとうございます。県総体に向けて仕上がりは順調のようです。この週末も男女バレーの県総体、男女サッカーの県総体、陸上の県総体東播地区予選が行われます。ケガなどに気を付けて今までの練習の成果を発揮してください。



5月6日朝校門に立っていると、今月末に行われる生徒会選挙に立候補した生徒が現生徒会長の誘導のもと現れ、校門前で肩からタスキをかけて挨拶をしながらの選挙活動を開始。1年の時間の経過の速さに驚きました。文化祭までは現執行部が中心となり、引継ぎをして1学期球技大会、体育大会とつなげていきます。昨年度できなかった行事をできる範囲で開催し、次につなげていくことが大切です。新型コロナウイルス感染もまだまだ安心できない状況で

どうなるかわかりませんが、知恵を出し合っできる範囲の行事をしっかりとやっていきたいと思います。生徒の皆さんも自分のこととして受け止め、生徒会に協力しつつ、自分たちの学校づくりをしてほしいと思います。



5月6日7限目には生活科学科全生徒が集合し、学校家庭クラブ入会式・総会並びに学科集会が行われました。家庭クラブ入会式では役員紹介や活動紹介だけでなく、私からの挨拶や会長挨拶、教頭先生の指導助言があり、1年生入会にあたっての特別な式です。昨年度は当該生徒と役員のみでしたので集会の意味や段取りなど今年確認しておかないと引き継げません。今一度みんなで活動の意義や自分たちのやっていることを確認してほしいと思

いました。そのあとの学科集会では、徳平学科長の話、インターンシップ報告などがあり、今年の活動の方向性を確認したようです。生活科学科での学習は、我々の生活にとって重要な衣食住を扱っています。その先陣を切った学習に誇りをもって自らが何をすべきか、何ができるかをしっかり考えることができるようになって地域貢献を果たしていけるよう頑張ってください。よろしくお願

います。4月25日に緊急事態宣言が出され、部活動が制限される中、連休も終わり、時間だけがどんどん過ぎていきます。今という時間を無駄にしないためにも、やるべきことは集中して取り組み、しっかりと休養栄養を取り、回復に努めながら自らの目標に向かって一つひとつ課題解決を図っていきましょう。来週からは中間考査1週間前になります。大会に向けての練習と同時進行はよほど計画的にやらないと両方をこなすことは難しいです。学習のまとめも含め考査の準備を進めてください。同時にコロナウイルス感染拡大防止に努め、マスク着用や会話のマナー厳守、手洗い消毒等よろしくお願